

大原社会問題研究所雑誌

686 2015.12

【特集】朝鮮人強制連行研究の成果と課題——「戦後70年」の現在から考える(1)

特集にあたって	愼 蒼 宇	1
朝鮮人強制動員研究の現況と課題	樋口雄一	5
朝鮮人軍人軍属の強制動員数	竹内康人	17
韓国における「朝鮮人強制動員」問題の現状と課題	韓 惠 仁・南 相 九	37

■論 文

1920年代の移民問題をめぐる日本国際連盟協会と国際労働事務局	寺田 晋	48
---------------------------------	------	----

■証言：戦後社会党・総評史

総評解散後の労働組合と社会党——橋村良夫氏に聞く(下)	64
-----------------------------	----

■書評と紹介

谷口明丈編『現場主義の国際比較』	沢井 実	78
友澤悠季著『「問い」としての公害』	平林祐子	82
Hwa-Jen Liu, <i>Leverage of the Weak</i>	鈴木 玲	87

社会・労働関係文献月録	法政大学大原社会問題研究所	92
-------------	---------------	----

月例研究会	108
-------	-----

所 報 2015年8月

発 行／法政大学大原社会問題研究所
発売所／法政大学出版局 3330-55001-7710

〒102-0073 東京都千代田区富士見2-17-1
TEL 03(5214)5540
郵便振替口座 00160-6-95814

THE JOURNAL OF OHARA INSTITUTE
FOR SOCIAL RESEARCH

No. 686 December 2015

Special Issue: The Current State and Future Directions of Research on
Forced Mobilization of Koreans in the Colonial Period (1)

Introduction to the Special Issue	SHIN Chang-U
Research on Forced Mobilization of Koreans in the Colonial Period	HIGUCHI Yuichi
How many Koreans were Forcibly Mobilized as Soldiers and Military Employees?	TAKEUCHI Yasuto
The Current State of Research in ROK on Forced Migration of Koreans in the Colonial Period	HAN Hyein, NAM Sanggu

Articles

The Activities of the League of Nations Association of Japan and the International Labour Office on the Problem of International Migration in the 1920s	TERADA Kuniyuki
--	-----------------

Oral History: History of the JSP and Sohyo

Labor Unions and the JSP after the Dissolution of Sohyo: An Interview with Yoshio Hashimura
--

Book Reviews

TANIGUCHI Akitake, <i>“Genba-ism” (shop-oriented culture) : Histories of the Engineers in the UK, Germany, the USA. and Japan</i>	SAWAI Minoru
TOMOZAWA Yuuki, <i>Philosophy of Japanese Environmental Sociology: From the Thoughts of Nobuko Iijima (1938-2001)</i>	HIRABAYASHI Yuko
Hwa-Jen Liu, <i>Leverage of the Weak : Labor and Environmental Movements in Taiwan and Korea</i>	SUZUKI Akira

Bibliography of Publication on Labour and Social Issues

Ohara Institute for Social Research

Monthly Research Meeting

OHARA INSTITUTE FOR SOCIAL RESEARCH

4342, Aiharamachi, Machida-shi, Tokyo, 194-0298, Japan
web site: <http://oisr-org.ws.hosei.ac.jp/>
e-mail: oharains@adm.hosei.ac.jp

編集(兼)発行人
法政大学大原社会問題研究所
〒194-0298 東京都町田市相原町4342 TEL 042(783)2305~7

定価1,000円(本体926円)
年間購読 12,000円(税込)

大原社会問題研究所雑誌

六八六号

【特集】

朝鮮人強制連行研究の成果と課題

「戦後70年」の現在から考える(1)

二〇一五年十二月

一年間に起きた社会・労働分野の変化と
課題がわかる貴重なデータブック

最新2015年版 第85集

日本労働年鑑

法政大学 大原社会問題研究所 編

——おもな内容——

【序 章】 政治・経済の動向と労働問題の焦点

《特集1》 労働市場のジェンダー構造
——男女雇用機会均等法
成立30年の現状

《特集2》 生活保護法改正と
生活困窮者自立支援法

【第1部】 労働経済と労働者生活

【第2部】 経営労務と労使関係

【第3部】 労働組合の組織と運動

【第4部】 労働組合と政治・社会運動

【第5部】 労働・社会政策

＜付録＞ 労働組合の現状／労働組合名簿／統計・事項索引／年表

ハーバード大学歴史学部教授(日本近現代史、労働史)

アンドルー・ゴードン

『日本労働年鑑』は、日本の社会、政治、社会政策の現在と過去の変容に関心のある人にとって貴重な情報源となります。過去50年で、おそらく今日ほど労働問題とそこから派生する経済、教育、社会福祉、社会運動の諸分野の課題が多くの人々の関心を呼んでいる時期はありません。私がこれらの問題について調べるとき、バランスのとれた詳しい情報源として最初に参照するのは『日本労働年鑑』です。

推薦します

本年鑑5つの特徴

- ①その年に起きた社会・労働分野の変化や問題、課題を正確に記録、解説。「特集」と「5つの基本テーマ」で構成、収録。
- ②特に重要なテーマについては、「特集」でさらに深く詳しく解説。
- ③政治・経済・経営・社会保障などの視点からも論述。
- ④理解が深まる豊富な図表とグラフ。
- ⑤社会全体の動きやポイントになる出来事を6つの分野に分けて「年表」で巻末に収録。



本体15,000円+税
A5判・上製・504頁



〒112-0015 東京都文京区目白台2-14-13
電話(03)3943-9911 FAX(03)3943-8396 <http://www.junposha.com/>

日本労働研究雑誌

No. 665 2015年12月号

定価 852円+税 年間購読 11,040円(税込)

特集:「労働研究と質的調査」

提言 調査法は大切、でもしよせんは道具
座談会 労働調査で大切なこと～これからの質的調査に向けて～

論文

労働研究におけるオーラルヒストリー的方法的可能性
職業相談のアクションリサーチ——効果的な研修プログラムの研究開発
ワークプレース研究と相互行為分析——2つの会議場面の分析を通じて

グラウンデッド・セオリー・アプローチ——労働研究への適用可能性を探る
質的調査データの二次分析——大正期「月島調査」と労働運動
質的データ分析の基本原則とQDAソフトウェアの可能性

労働政策の展望 ワークルール教育の重要性・難しさ

書評 森川美絵著『介護はいかにして労働となったのか——制度としての承認と評価のメカニズム』
論文Today 「好調なスタートか?産前産後休暇制度の拡充が子供に与えた影響について」
フィールド・アイ 英国におけるコーポレート・ガバナンス(英国から①)

今野浩一郎
稲上 毅
石田 光男
八幡 成美
池田 心豪
山下 充
榎野 潤
山崎 晶子
山崎 敬一
田丸恵理子
小松 盟
若林 功
武田 尚子
佐藤 郁哉

道幸 哲也

藤崎 宏子
茂木 洋之
八代 充史

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

〒177-8502 東京都練馬区上石神井4-8-23

☎ 03-5903-6255

Digest of Science of Labour

労働の科学 11

2015. November

第70巻第11号

定価1,100円・年間予約12,000円
送料86円

●特集／安全な荷役作業を

巻頭言＜俯瞰＞労働科学の社会貢献とその新生 酒井一博◆人力荷役機器に起因する労働災害の特徴と災害防止に向けた対策 大西明宏◆荷役機械運転時の労働災害発生状況と安全対策 小林繁男◆港湾労働者の健康と安全衛生対策の現状と課題——変化する労働環境と荷役作業 尾之上さくら・吉川 徹・毛利一平◆荷役作業における陸運事業者と荷主等の安全配慮義務——安全衛生協議機関の設置と義務の履行 西野方庸◆無事故無災害へ「安全第一主義」を基本に——高い現場力と先取りした対策を講じて 宇佐見和宏

◆労働を科学する・9 教職員の超勤・多忙化解消と労安活動の活性化…………… 藤川伸治
◆時評・労働科学 国際化学物質管理の現状と課題——第4回国際化学物質管理会議から… 中地重晴
◆難病患者の治療と仕事の両立支援を考える・7 消化器領域の難病患者の就労支援…………… 浅海 洋
◆労研アーカイブを読む・19 …………… 毛利一平
◆につぼん仕事唄考・26 閉山へ捧げられた挽歌たち②…………… 前田和男



(財)労働科学研究所出版部(労研出版)

〒216-8501 神奈川県川崎市宮前区菅生2-8-14 電話 044(977)2121 振替 00100-8-131861